2025 年 12 月 25 日

箱根駅伝　記念大会改革と出走チーム数増加について

一般社団法人関東学生陸上競技連盟

本連盟が主催する「東京箱根間往復大学駅伝競走」（箱根駅伝）について以下の内容を決定しましたので、お知らせします。下記以外については決定後にお知らせします。

１　記念大会の改革

これまで 5 年に 1 回だった記念大会について、以下のとおり変更します。

- **記念大会の頻度を 4 年に 1 回**とし、次は 2028 年 1 月実施の第 104 回を記念大会とします。以降は、開催回数・西暦ともに**4 の倍数の年（オリンピック開催年）の年明け**に、記念大会が実施されることとなります。
- **記念大会の予選会には、全国の大学が参加可能**（※1）（予選会を突破すれば本選も出場可能）とし、かつ、**記念大会の本選では**関東学生連合チームに代えて、予選会の結果によって編成(※2)される**日本学生選抜チーム**を出走チームに加えます(下記 2 参照)。

（※１）大学院生は、大学院チームで予選会への参加資格を得た場合に、参加可能。

（※２）通常の編成ルールをそのまま適用（現行だと落選上位 10 校に各 1 枠＋個人 6 名。2025 年 6 月 19 日の本連盟公表文参照。）。

理由は、①大学 4 年間でどの学生にも記念大会のチャンスがあるようにすること、②記念大会を「箱根駅伝から世界へ」の象徴と位置付けること、③関東以外の学生にも出走チャンスを生むことで全国の学生の競技レベル向上に資するとともに、広く地方活性化にも貢献することの、3 点です。

２　出走チーム数の増加

第 104 回大会から、以下のとおり、**通常大会･記念大会ともに出走チーム数を 3 チームずつ増加**します（なお、第 103 回は変更前の合計 21 チームで実施します。）。

理由は、全体の競技レベル向上により各校の実力差が縮小していることと、上記 1③の趣旨を組み合わせることです。

	変更前	変更後
通常大会	合計 21 チーム ・単独 20 チーム ・関東学生連合チーム	**合計 24 チーム** ・単独 23 チーム ・関東学生連合チーム
記念大会	合計 23 チーム ・単独 23 チーム	**合計 26 チーム** ・単独 25 チーム ・日本学生選抜チーム ※ 開催回数・西暦ともに 4 の倍数の年 ※ 予選会は全国の大学が参加可

これらの改革は、警視庁・神奈川県警察を始め、東京都・神奈川県などの関係先各位のご理解・ご協力のもとで実現することができました。この場を借りて深く御礼申し上げます。

箱根駅伝は、先人が築いてきた伝統を大切にしながら、進化を続けてまいります。
ますますの熱い応援とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

以　上